

平成18年4月1日から 介護保険が新しく変わります

介護保険制度はスタートから6年、介護を社会全体で支える制度として定着してきました。

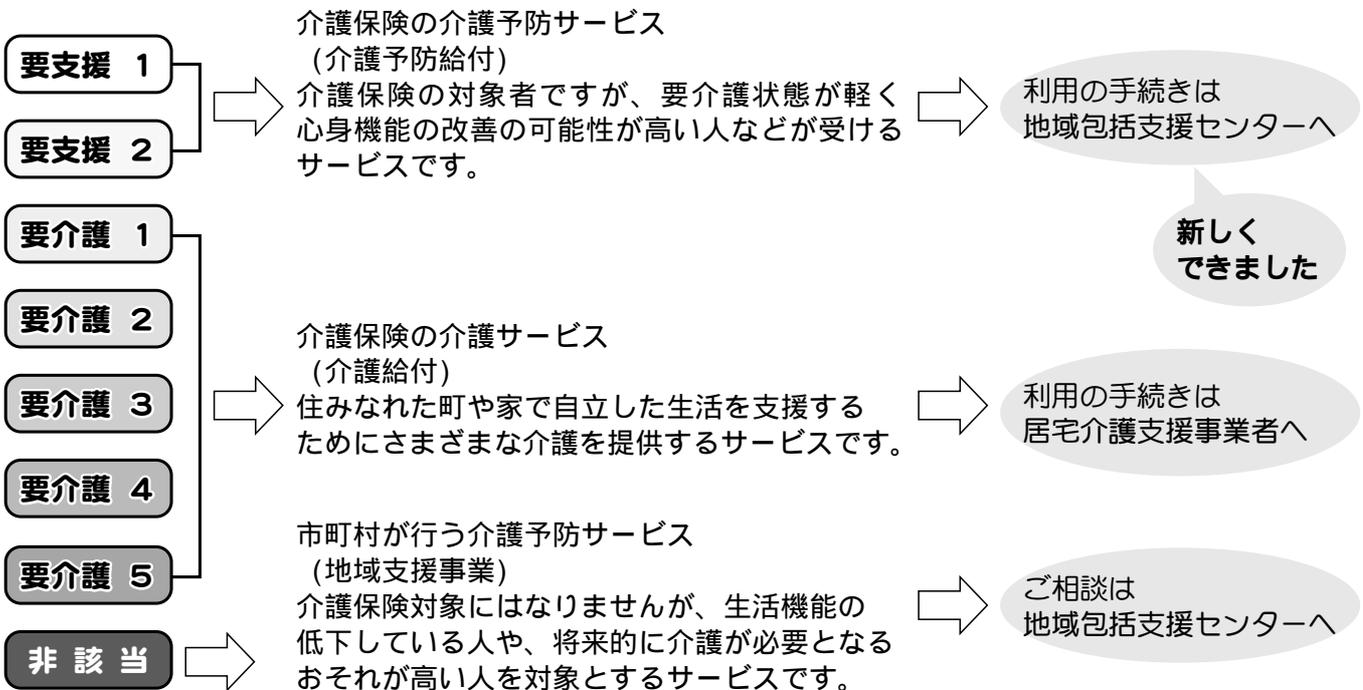
その一方で、要介護者、中でも要支援や要介護1の軽度要介護者の数が急増し、給付される費用も年々増大しています。そこで2025年をピークとする高齢社会に向け、制度を安定的に運営するために要介護者を増やさない、重症化させない取り組みが必要となってきましたので、新たに新予防給付がスタートします。

現在の要支援や要介護1は新しい介護区分に分けられます。新しい介護区分には要支援1と要支援2が新設されいずれも介護予防給付になります。

要支援1と要支援2は地域包括支援センターが窓口となって契約し介護予防計画をたてます。

現在居宅サービス計画を居宅介護事業者に依頼されている方へ

介護認定により介護区分が予防給付か介護給付に分けられます。認定がおりましたら各窓口においでください。



【問い合わせ先】 保険課 介護保険係 (☎53 - 3118)

平成18年4月1日から 地域包括支援センターが設置されます

地域包括支援センターとは

保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーが中心となって、介護予防に関するマネジメントをはじめとする高齢者への総合的な支援を行うところです。

介護予防に関する事業

地域の高齢者への総合的な支援

地域によるさまざまな事業

- 窓口 { 旧土佐山田町・・・本所 (NTT事務所1階 = 福祉事務所横) (☎53 - 3127)
 旧香北町・・・香北町保健福祉センター内 (☎59 - 3151)
 旧物部村・・・物部支所内 (☎58 - 3111)

【問い合わせ先】 保険課地域包括支援センター準備係 (☎53 - 3127)